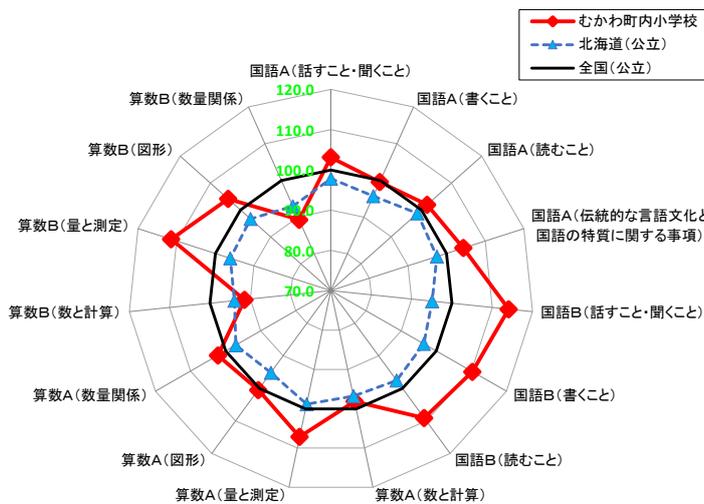


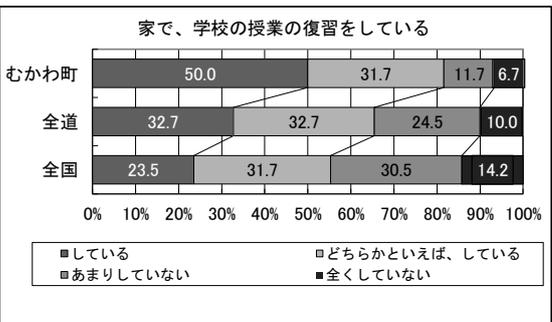
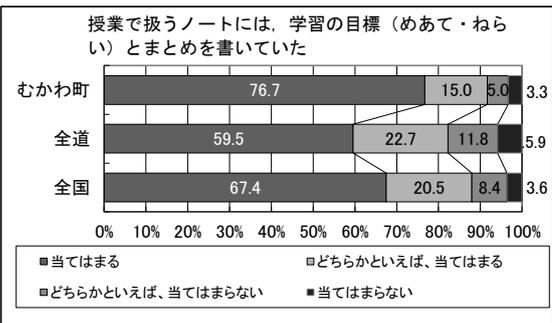
■むかわ町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:5、児童数:60名)

【教科全体の状況】

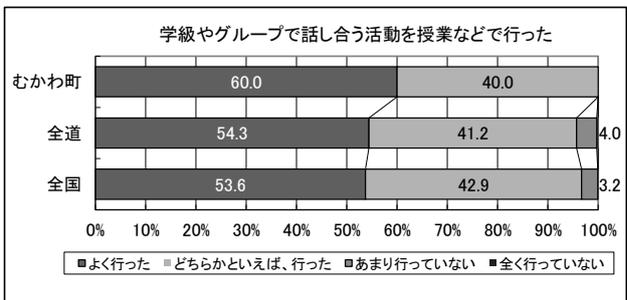
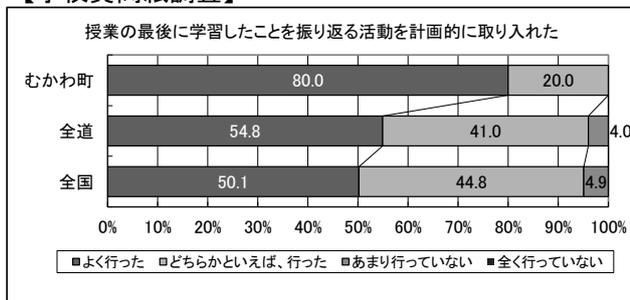
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語A・Bにおいて、全国の平均正答率を上回っており、算数Aにおいて、全国とほぼ同様になっている。 ○ 国語では、国語Aの「書くこと」を除いて、すべての領域で、全国を上回っている。 ○ 算数では、算数A・Bの「量と測定」「図形」、算数Aの「数量関係」で、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業の最後に振り返りの活動を位置付けたり、授業で扱うノートに学習の目標とまとめを書くよう指導したりしたことにより、本時で扱った学習内容を家庭で振り返ることができるようになり、家庭学習の習慣化につながったと考えられる。 ○ 各学校において、学級やグループで教師が目的や視点を明確にして話し合う活動を行ったことにより、児童の言語意識が高まり、特に国語において、ほぼすべての領域で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていた」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「家で、学校の授業の復習をしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「学級やグループで話し合う活動を授業などで行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

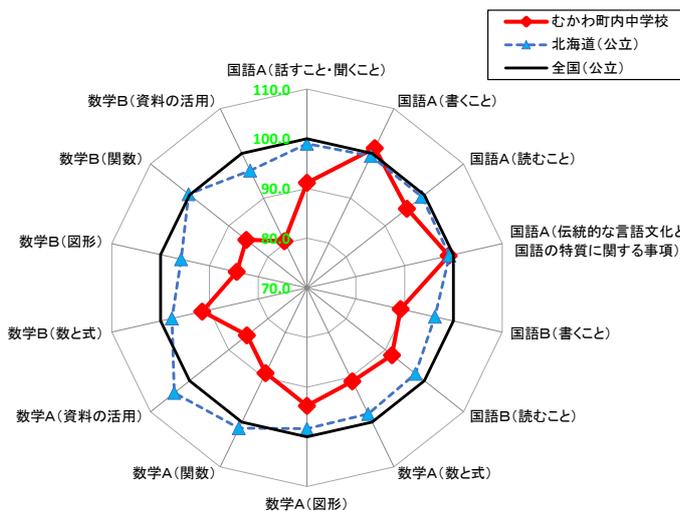
【むかわ町の学力向上策】

- ◎ 町独自の学習支援員、補助教員の配置
- ◎ 標準学力検査(CRT)の実施と分析による指導方法の改善
- ◎ 通学合宿等を実施し、学習意欲の向上と理解力を高める学びの環境整備
- ◎ 「家庭学習のてびき」の配付及び「生活実態アンケート調査」の実施による家庭と連携した家庭学習の充実

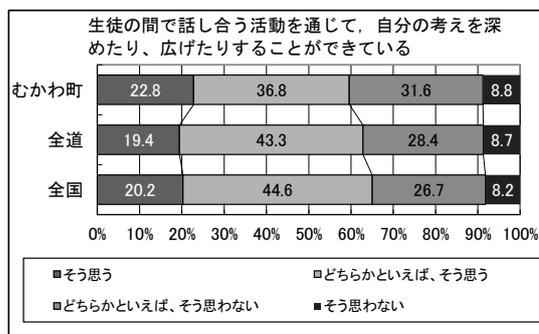
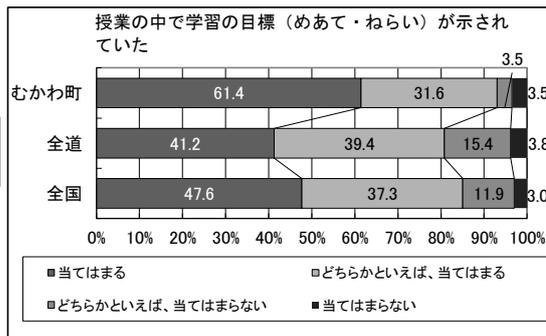
■むかわ町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2、生徒数:57名)

【教科全体の状況】

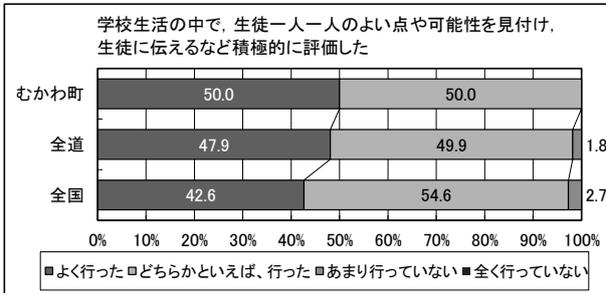
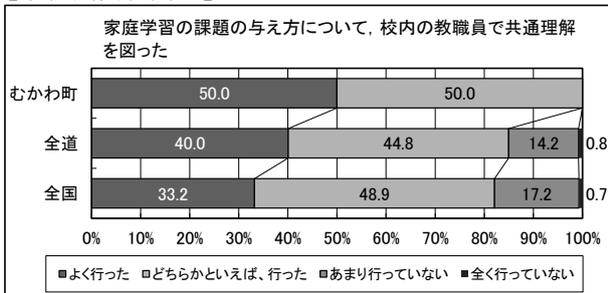
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

項目	分析内容
教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての教科において、全道の平均正答率を下回っている。 ○ 国語Aでは、「書くこと」で、全国を上回っている。 ○ 数学では、すべての領域で、全国との差が小さくなっており、数学Aの「図形」、数学Bの「数と式」で、改善している。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業の中で学習の目標が示されていた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「学校生活の中で、生徒一人一人のよい点や可能性を見付け、生徒に伝えるなど積極的に評価した」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。

【むかわ町の学力向上策】

- ◎ 標準学力検査(CRT)の実施と分析による指導方法の改善
- ◎ 「家庭学習のてびき」の配付及び「生活実態アンケート調査」の実施による家庭と連携した家庭学習の充実
- ◎ 習熟度別学習の拡大、「振り返り」の時間の設定
- ◎ 全国学力・学習状況調査の過去問題や、ほっかいどうチャレンジテストの授業における積極的活用